

## この本のとくちょう

『まるごと 日本のことばと文化』は JF 日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。以下のような特徴があります。

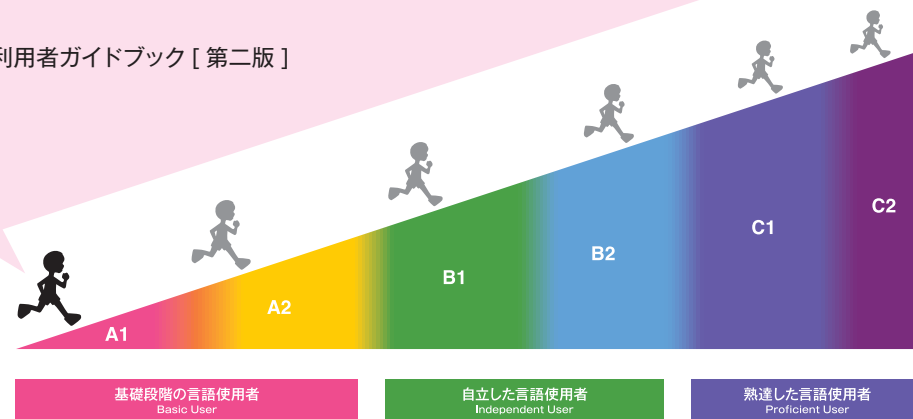
### ● JF 日本語教育スタンダードの日本語レベル

『まるごと』は JF 日本語教育スタンダードの 6 段階 (A1-C2) でレベルを表しています。『まるごと』(入門)は A1 レベルです。

#### A1 レベル

- ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。
- ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。
- ・もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやりとりをすることができる。

JF日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック [第二版]



### ● 2つの『まるごと』: 「かつどう」と「りかい」

『まるごと』は日本語を使ってコミュニケーションができるようになるために、「かつどう」と「りかい」の2つの学習方法を提案します。

「かつどう」: 日本語をすぐに使ってみる人に

- ・日常場面でのコミュニケーションの実践力をつけることが目標です。
- ・日本語をたくさん聞き、話す練習をします。

「りかい」: 日本語について知りたい人に

- ・コミュニケーションのために必要な日本語のしくみについて学ぶことが目標です。
- ・コミュニケーションの中で日本語がどう使われるか、体系的に学びます。

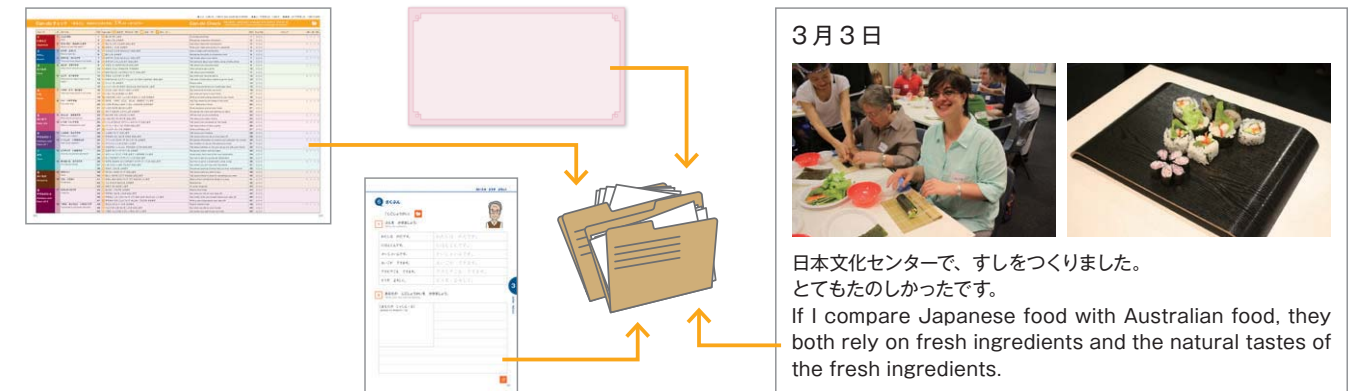
「かつどう」と「りかい」はどちらも主教材です。どちらを選ぶかは、学習目的によって決めてください。また、「かつどう」と「りかい」は同じトピックで書かれています。両方で学べば、総合的に日本語力をつけることができます。

### ● 異文化理解

『まるごと』は、ことばと文化を合わせて学ぶことを提案しています。会話の場面や内容、写真、イラストなど様々なところに異文化理解のヒントがあります。日本の文化について知り、自分自身の文化をふりかえて、考えを深めてください。

### ● 学習の自己管理

ことばの学習を続けるためには、自分の学習を自分で評価し、自分で管理することがとても重要です。ポートフォリオを使って、日本語や日本文化の学習を記録してください。ポートフォリオを見れば、自分の学習プロセスや成果がよくわかります。

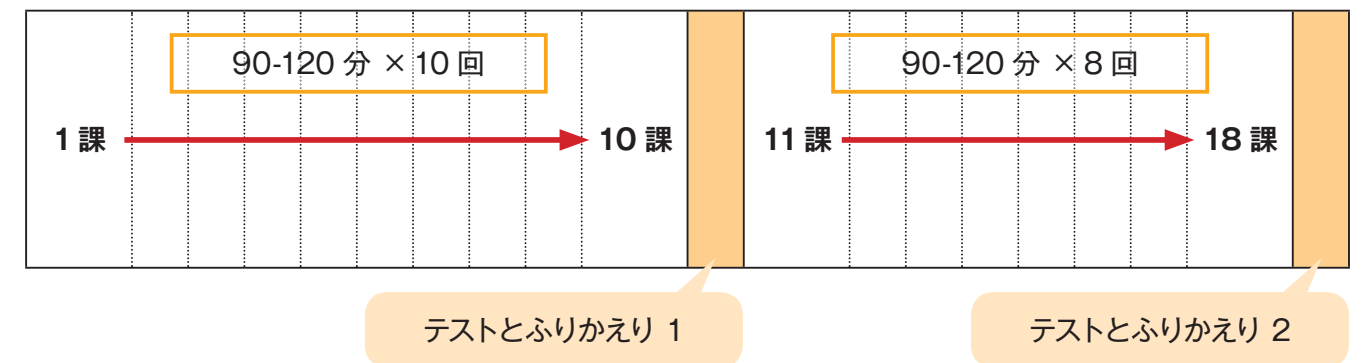


## この本のつかいかた

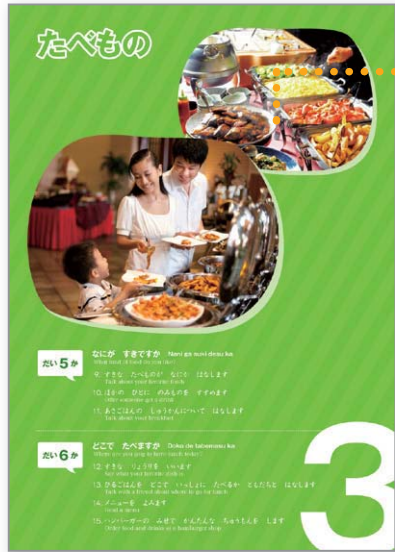
### 1 コースの流れ

『まるごと』(入門 A1 かつどう)のコースは、コミュニケーションのための言語活動を中心に進めます。1回の授業で1つの課を学習します。授業時間の目安は1課あたり90-120分です。コースの中間と終了時に「テストとふりかえり」をするので、全20回の授業になります。

#### 標準的なコースの例



## 2 トピックと課の流れ



**目標を知る**  
1つのトピックに2つの課があります。写真を見て、どんなことをするのか話します。その課で何ができるようになるか Can-do を確認します。

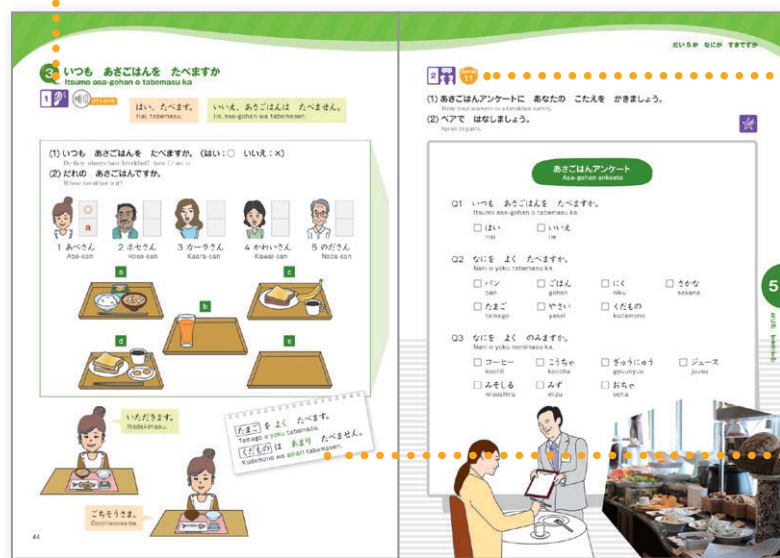


**見る・聞く・言ってみる**

**音声** 音声を聞いて写真やイラストを指さしながら意味を確認します。また、小さい声で言ってみます。自分にとって必要なことばを覚えましょう。音声ファイル URL → p9

**聞く・気づく**

**場面／文脈のある会話をたくさん聞きます。**内容を理解すると同時に、会話の流れをつかみ、よく使われる表現に気づくことが大切です。音声ファイル URL → p9



**使ってみる**

**会話** (ききましよう) の会話の中にある表現を使って、ペアで話します。うまく言えなかったら、もう一度会話を聞いてみましょう。

注意する語や表現

日本語の文字を読む負担を軽くするために、ローマ字がついています。また、指示文には英語訳がついています。

わかりやすく、楽しく学習するために写真やイラストがたくさん使われています。



**Can-do チェック**  
授業のあとで、Can-do ができたか、自分でチェックして、コメントを書きます。  
Can-do チェック p144-p145 URL → p9

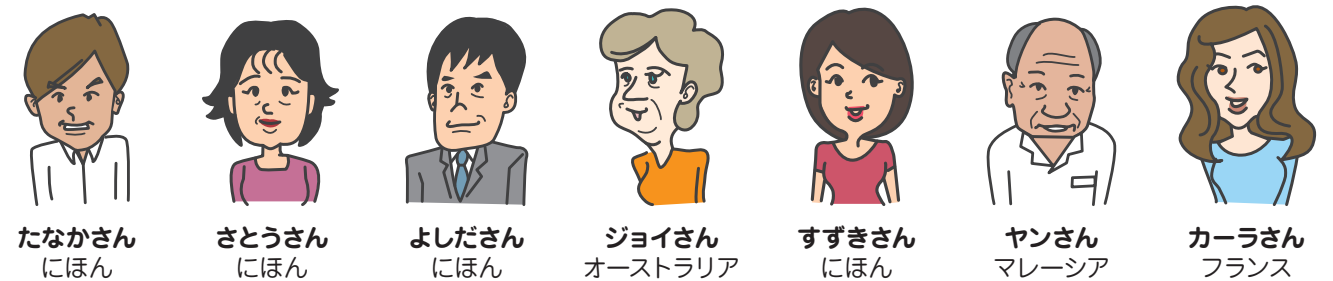
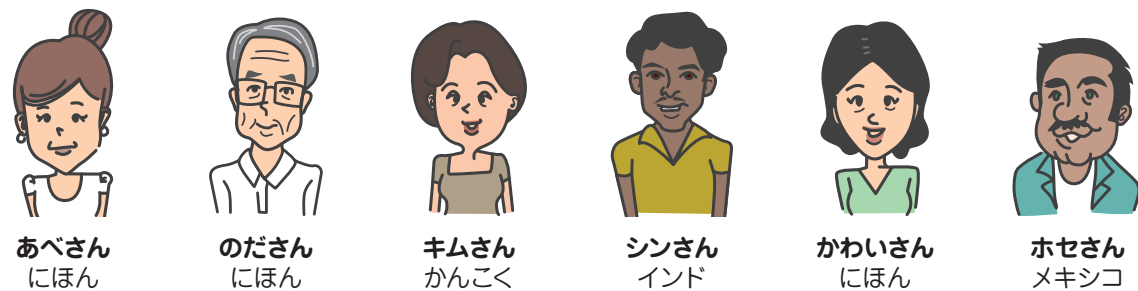
**生活と文化**  
日本の生活と文化について、いろいろな写真を見ます。自分の国や自分自身と比較して、思ったことをクラスで話し合います。



### アイコン

- きいていましょう
- ききましよう
- ペアではなしましょう
- かきましよう
- よみましよう
- ポートフォリオにいれましよう
- Can-do をチェックましよう
- おんせい

「さん」はほかの人の名前の後ろにつける敬称です。(あべさん)



### 3 異文化理解の活動

『まるごと』はことばと文化をいっしょに学ぶコースです。教室の外でも日本語を使ったり、日本文化を体験したりしましょう。

- ・ 日本のウェブサイトを見る
- ・ 日本のドラマや映画を見る
- ・ 日本料理のレストランに行ってみる
- ・ 日本関係のイベントに行ってみる
- ・ 日本人の友人や知り合いと話してみる

教室の外で体験したことをクラスの人と話してください。

### 4 学習の自己管理の方法

#### 1) Can-do チェック

1つの課が終わったら、Can-do チェック (p144-p145) を見て、チェックします。自分の学習をふりかえて、コメントを書きます。コメントは何語で書いてもいいです。

Can-do Check	NO	NO	コメント
Exchange greetings.	1	○	
Recognize common expressions.	2	○	
Use basic classroom expressions.	3	○	
Write your name and country in Japanese.	4	○	
Give a simple self-introduction.	5	○	
Recognize the parts of a business card.	6	○	
Talk briefly about your family.	7	○	
Talk someone about your family using a family photo.	8	○	
Talk about your favorite foods.	9	○	
Order someone get an item.	10	○	
Talk about your hobbies.	11	○	
Say what your favorite dish is.	12	○	
Talk with a friend about where to go for lunch.	13	○	
Read a menu.	14	○	
Order food and drink at a hamburger shop.	15	○	
Say what kind of home you have.	16	○	
Say what you have in your home.	17	○	
Write an E-mail having contents in your home.	18	○	
Ask for what to eat/bring in the shop.	19	○	
Visit / Welcome a friend.	20	○	
Write someone about your home.	21	○	
Recognize the name and address on signs.	22	○	

#### コメントの例

- ・ 話した人と趣味が同じでうれしかった。
- ・ 日本のことがわかって楽しかった。
- ・ 文字が読めるようになって自信がついた。

#### 2) ポートフォリオ

日本語と異文化理解の学習や体験を記録し、ふりかえるために、ポートフォリオには以下のようなものを入れます。

- ① Can-do チェック
- ② テスト
- ③ 日本語を使って自分で書いたもの (例 Eメール、カードなど)
- ④ 日本語・日本文化の体験記録

### 5 テストについて

テストの方法と内容については、「テストとふりかえり」(p71-p72、p114-p115) を見てください。

### 6 関連情報

『まるごと』ポータルサイト <https://www.marugoto.org/>

以下の『まるごと』関連リソースをダウンロードしたり、学習支援サイトにアクセスしたりできます (無料)。

#### ● 教科書といっしょに使う教材

- ・ 音声ファイル
- ・ 書くタスクのシート
- ・ ごいインデックス
- ・ ひょうげんインデックス
- ・ ごいちよう
- ・ Can-do チェック

#### ● 学習支援サイト

- ・ 「まるごと+ (プラス)」
- ・ 「まるごとのことば」

#### ● 教師用リソース



〈ごいちよう〉